

**平成23年度
小学5年生の男女共同参画に関する
意識調査報告書**

平成24年2月

宇都宮市

目 次

I	意識調査の概要	2
II	意識調査の結果概要	3
III	意識調査の結果	5
III-1	回答者の属性	5
III-2	男らしさ・女らしさ	6
III-3	学校で「女（男）の子で良かった」と感じる時	11
III-4	家庭で「女（男）の子で良かった」と感じる時	15
III-5	性別役割分担意識（家庭）	20
III-6	性別役割分担意識（リーダー）	22
III-7	将来の仕事	24
IV	資料編（調査票）	26

I 意識調査の概要

1 調査の目的

平成 19 年度に児童の男女共同参画に関する意識や行動等について調査を行ったが、その後の意識変化等を把握するとともに、平成 24 年度に策定する「第 3 次男女共同参画行動計画」における施策事業の推進及び児童の指導に資することを目的とする。

2 調査名 平成 23 年度 小学 5 年生の男女共同参画に関する意識調査

3 実施主体 宇都宮市

4 調査対象及び抽出方法

宇都宮市立小学校 68 校，小学 5 年生 4,752 人（平成 23 年 10 月現在）のうち，8 校 974 人を抽出

〔標本数〕

標本誤差 3%以内，信頼度 95%，正規分布表 $k=1.96$ として 872 人以上を算出

5 調査期間

平成 23 年 12 月 12 日（月）～平成 23 年 12 月 22 日（木）

6 調査方法

調査対象校に依頼し，調査実施日に出席している児童を対象にアンケート調査を行う。

7 調査項目

- ① 男らしさ・女らしさ
- ② 学校生活・家庭生活について
- ③ 家事分担について
- ④ 指導的役割を担うことについて
- ⑤ 将来の職業について

8 他調査との比較 過年度（平成 11・16・19 年度）に実施した同調査との比較を行う。

9 有効回答数 890 名（男子 448 人，女子 442 人） 回収率 91.4%

Ⅱ 意識調査の結果概要

男らしさ・女らしさ（Ⅲ-2）

- 「女（男）らしくしなさい」や「女（男）のくせに」と言われない（「あまり」＋「まったく」）と答えた児童は 75.8%であり、経年変化をみると、その割合は増加傾向にある。特に、女子が増加している（11年度：18.6%，23年度：30.1%）。
- 「女（男）らしくしなさい」や「女（男）のくせに」と言われる（「よく」＋「ときどき」）と答えた児童は 23.6%であり、女子は男子と比べ、約 2 倍多く言われている（女子：31.9%，男子：15.4%）。
- 「女（男）らしくしなさい」や「女（男）のくせに」と言うのは「母」（71.0%）、「父」（31.0%）、「男の友達」（21.4%）の順に多い。

学校で「女（男）の子で良かった」と感じる時（Ⅲ-3）

- 学校において、「女（男）の子で良かった」と感じたことが「ある」と答えた児童は 36.3%であり、男女間で大きな差異は見られない（女子：37.6%，男子：35.0%）。また、「ある」と答えた児童の割合は増加傾向にあり（11年度：22.4%，23年度：36.3%），特に、男子が増加している（11年度：18.6%，23年度：35.0%）。
- 学校において、「女（男）の子で良かった」と感じた時は、女子は「友だちとの関わり」と「服装・髪型・身だしなみ」がともに最も高く（18.1%），男子は「運動をしているとき」が最も高かった（35.0%）。

家庭で「女（男）の子で良かった」と感じる時（Ⅲ-4）

- 家庭において、「女（男）の子で良かった」と感じたことが「ある」と答えた児童は 27.4%であり、女子は男子と比べ、「女の子で良かった」と約 1.5 倍多く感じている（女子：34.2%，男子：20.8%）。
- 家庭において、「女（男）の子で良かった」と感じたことが「ある」と答えた児童の割合は増加傾向にあり（11年度：22.6%，23年度：27.4%），特に、女子が増加している（11年度：26.9%，23年度：34.2%）。

○家庭において、「女（男）の子で良かった」と感じた時は、女子は「家の手伝いをするとき」が最も高く（24.5%）、男子は「遊んでいるとき」が最も高い（14.0%）。また、男女ともに、「家の手伝いをするとき」に感じた割合が増加傾向にある（女子は19年度：14.8%、23年度：24.5%、男子は19年度：2.4%、23年度：10.8%）。

性別役割分担意識（家庭）（Ⅲ-5）

○食事の支度や掃除・洗濯などの家の仕事は、「女の人と男の人が力をあわせてやるのが良い」が最も高く（46.1%）、2位は「女の人でも男の人でもできる人がやるのが良い」（31.0%）、3位は「女の人が主にやるのが良い」（13.7%）であった。

性別役割分担意識（リーダー）（Ⅲ-6）

○会長や委員長などのリーダー役は「女の人でも男の人でもどちらでも良い」が最も高く（70.2%）、2位は「女の人の方が良い」（12.7%）、3位は「男の人の方が良い」（11.3%）と、2位と3位はほぼ同じくらいの割合であった。

将来の仕事（Ⅲ-7）

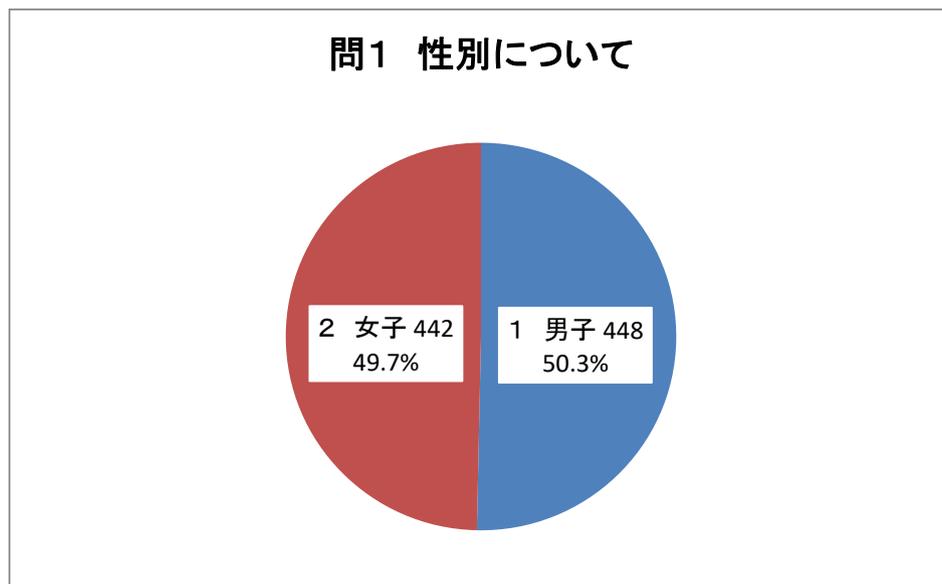
○将来の仕事は、女子は、1位が「保育士・幼稚園教諭」と最も高く（8.1%）、2位が「動物関係の仕事」（6.1%）、3位が「パティシエ」（5.7%）であった。男子は、1位が「サッカー選手」が最も高く（11.2%）、2位が「野球選手」（6.3%）、3位が「スポーツ選手（バスケット・バドミントン・ゴルフ・テニス・バレー等）」（5.4%）であった。

Ⅲ 意識調査の結果

Ⅲ-1 回答者の属性

問1 あなたの性別はどちらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

調査対象校となった宇都宮市立小学校8校，小学校5年生計974人のうち，890人の回答を得られ，回収率は91.4%であった。男女比は，女子が442人（49.7%），男子が448人（50.3%）であった。

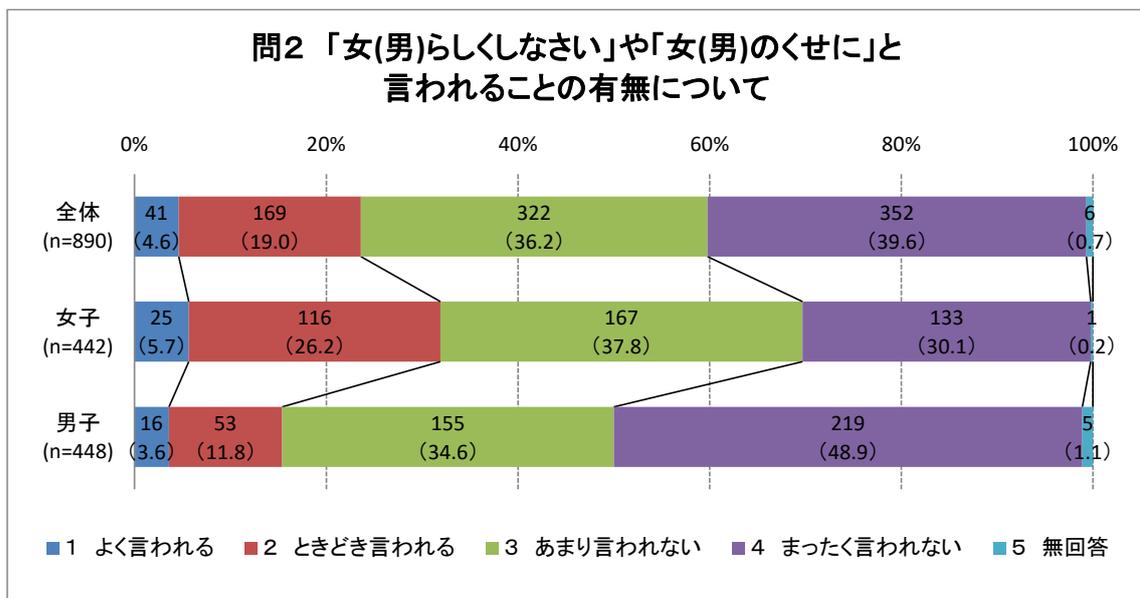


Ⅲ-2 男らしさ・女らしさ

問2 あなたは、「女（男）らしくしなさい」や「女（男）のくせに」と言われることがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

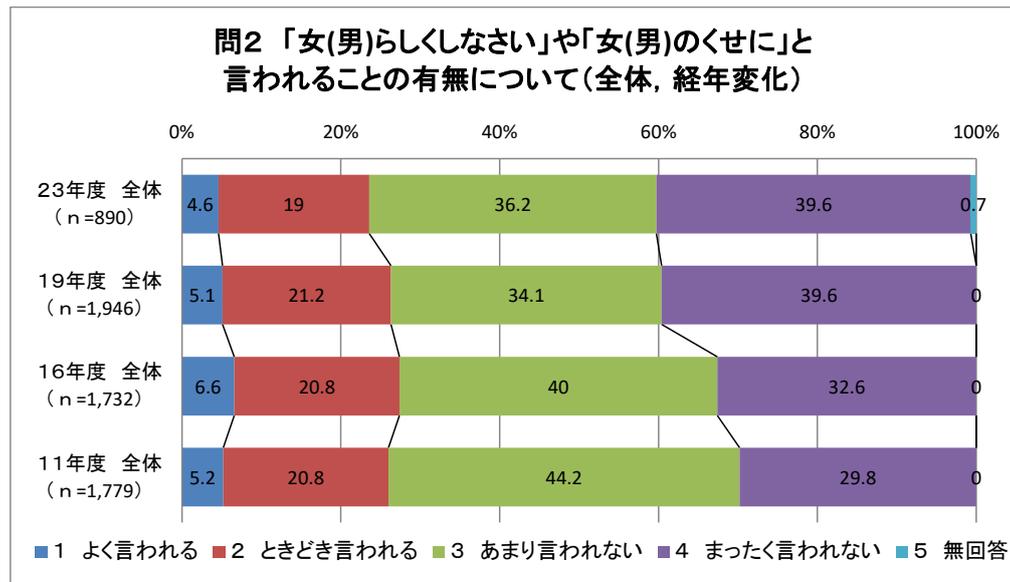
「女（男）らしくしなさい」や「女（男）のくせに」と言われることがあるかについて尋ねたところ、「あまり」または「まったく」言われないと答えた児童は674人（75.8%）、「よく」または「ときどき」言われると答えた児童は210人（23.6%）であった。

また、「よく」または「ときどき」言われると答えた児童のうち、女子は141人（31.9%）、男子は69人（15.4%）と、女子は男子と比べ、約2倍多く言われていることが分かった。

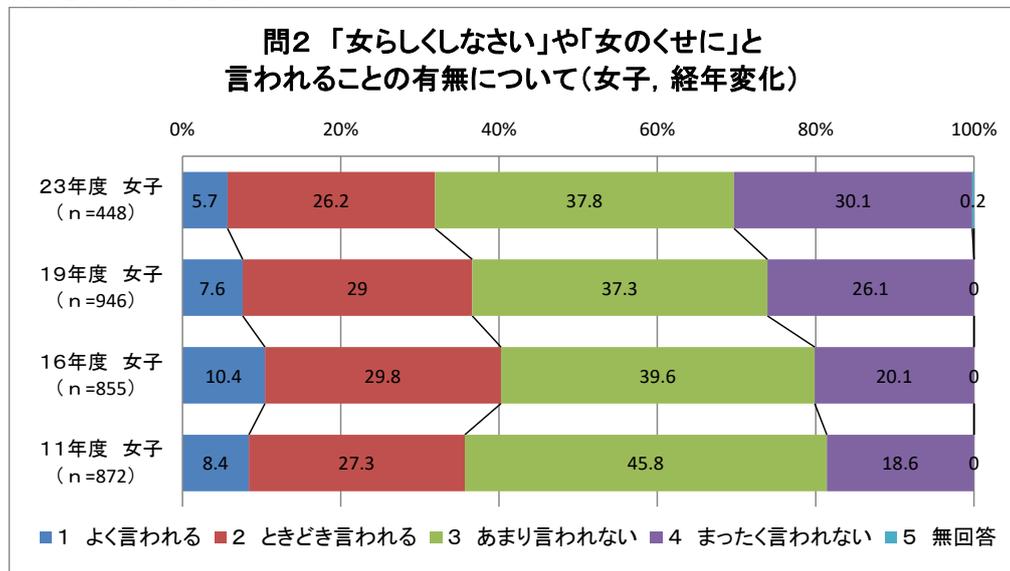


また、経年変化を分析したところ、全体では、「女（男）らしくしなさい」や「女（男）のくせに」と「まったく言われなし」と答えた児童の割合は増加傾向にあり、特に、女子は平成11年度の18.6%から平成23年度は30.1%に増加している。

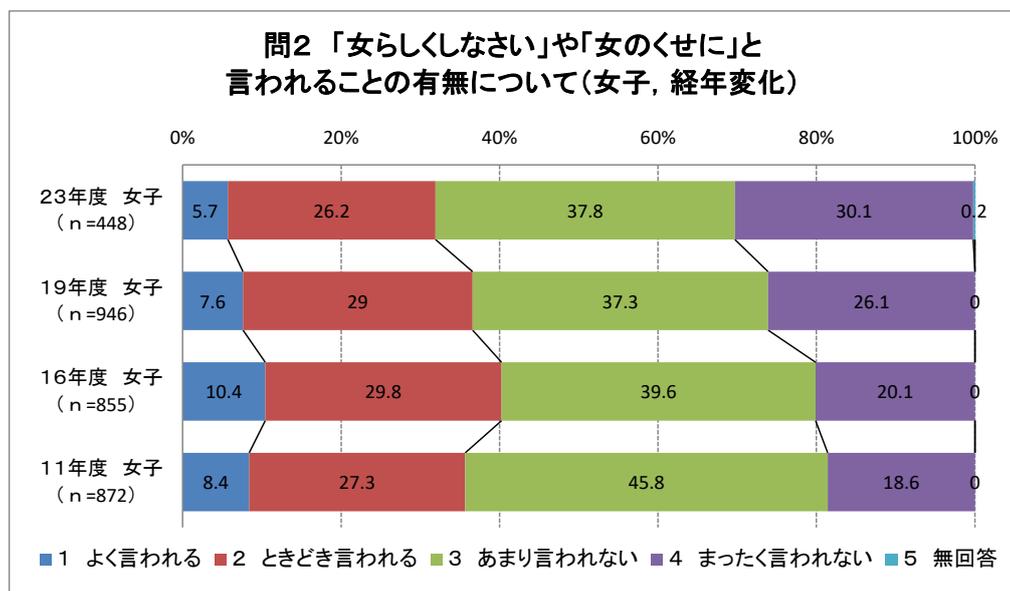
【全体， 経年変化】



【女子， 経年変化】

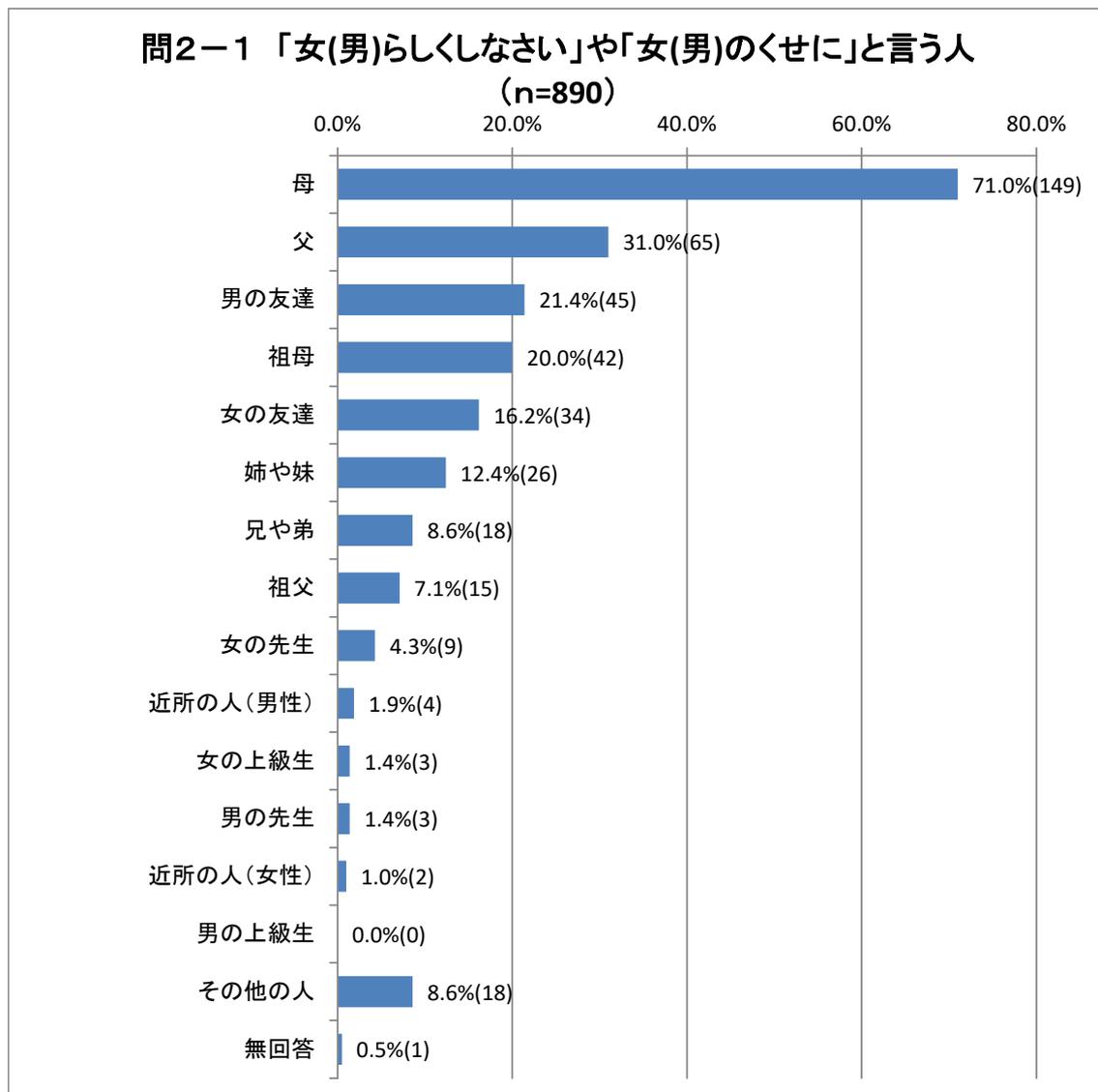


【男子， 経年変化】

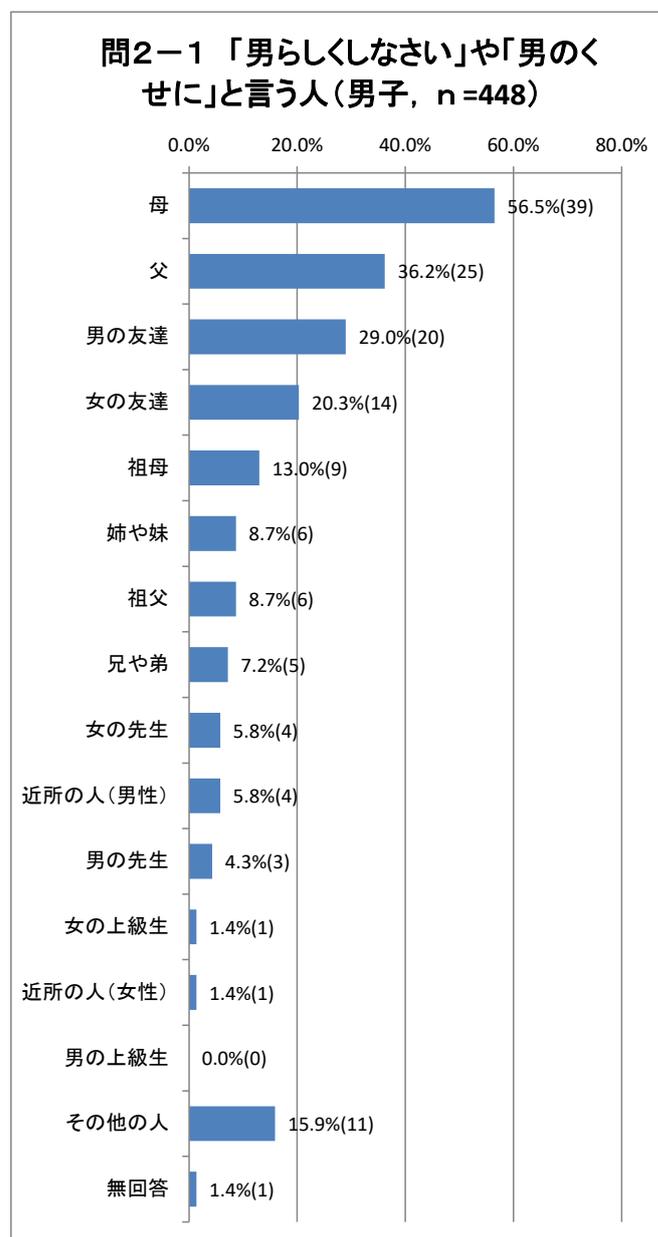


問2-1 問2で「1 よく言われる」、「2 ときどき言われる」に○をつけた人におたずねします。あなたにそのように言う人はだれですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

「女（男）らしくしなさい」や「女（男）のくせに」と、「よく」または「ときどき」言われると答えた児童（210人）に対して、誰からそのように言われたかについて尋ねたところ（複数回答）、全体では、1位が「母」で149人（71.0%）と最も高く、2位は「父」で65人（31.0%）、3位は「男の友達」で45人（21.4%）であった。

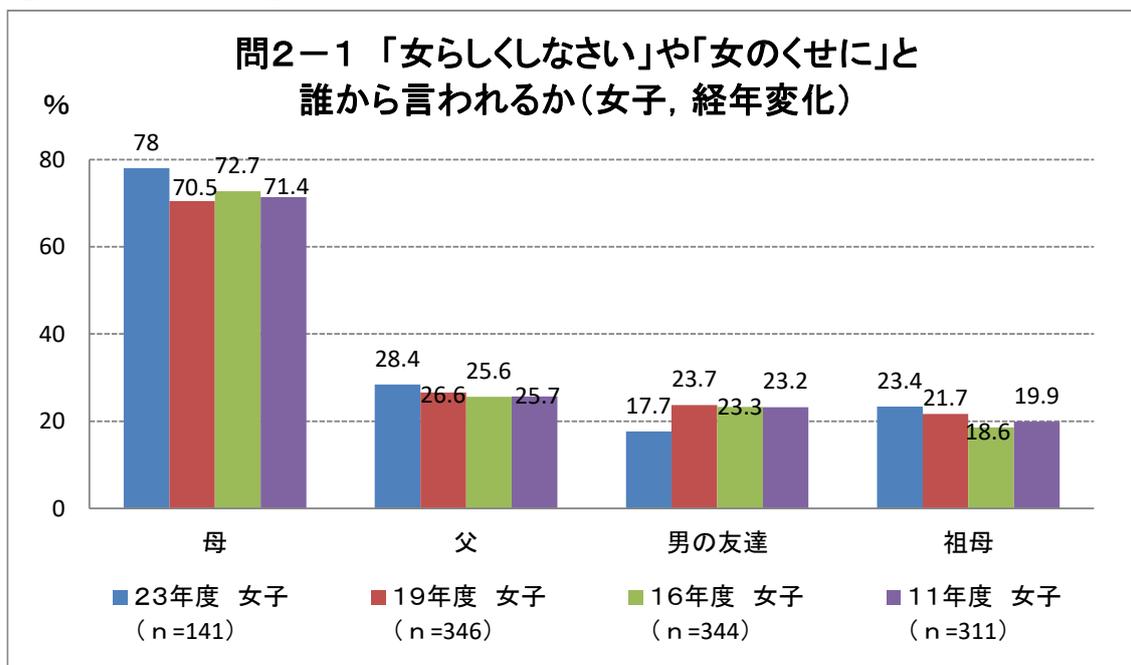


男女別に見ると、男女ともに1位は「母」、2位は「父」であったが、3位は女子では「祖母」(33人, 23.4%), 男子では「男の友達」(20人, 29.0%)と、男女間に差異が見られた。

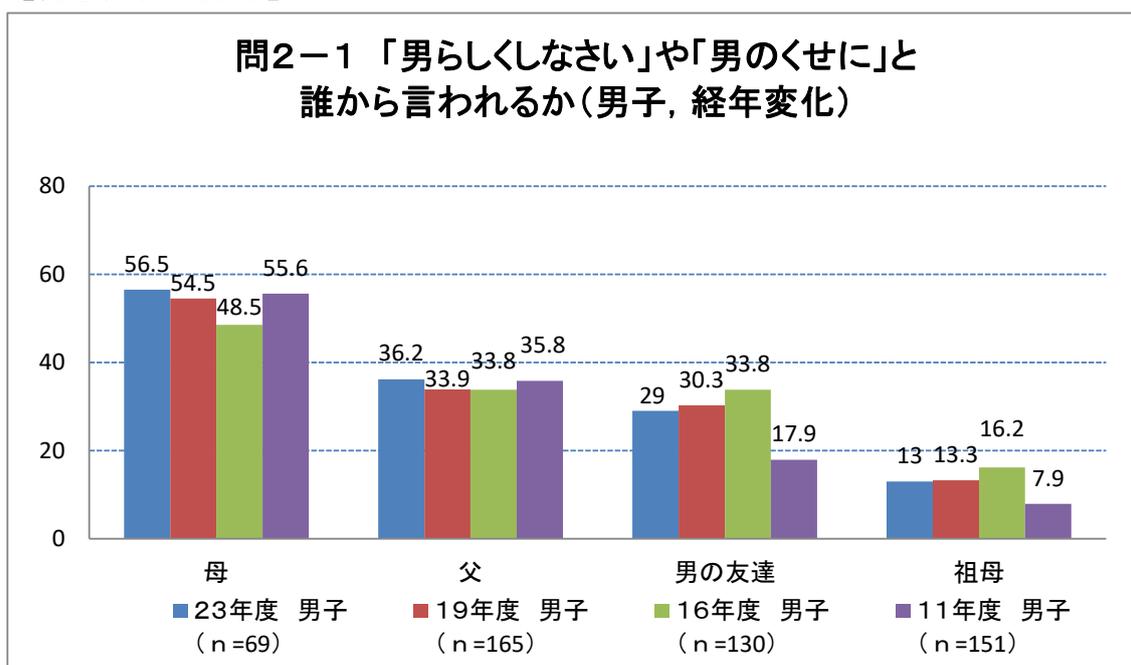


また、経年変化を分析したところ、「女（男）らしくしなさい」や「女（男）のくせに」と言う人として回答数が多かった「母」、「父」、「男の友達」、「祖母」については、過去の調査においても、同様に回答割合が高いことが分かった。

【女子，経年変化】



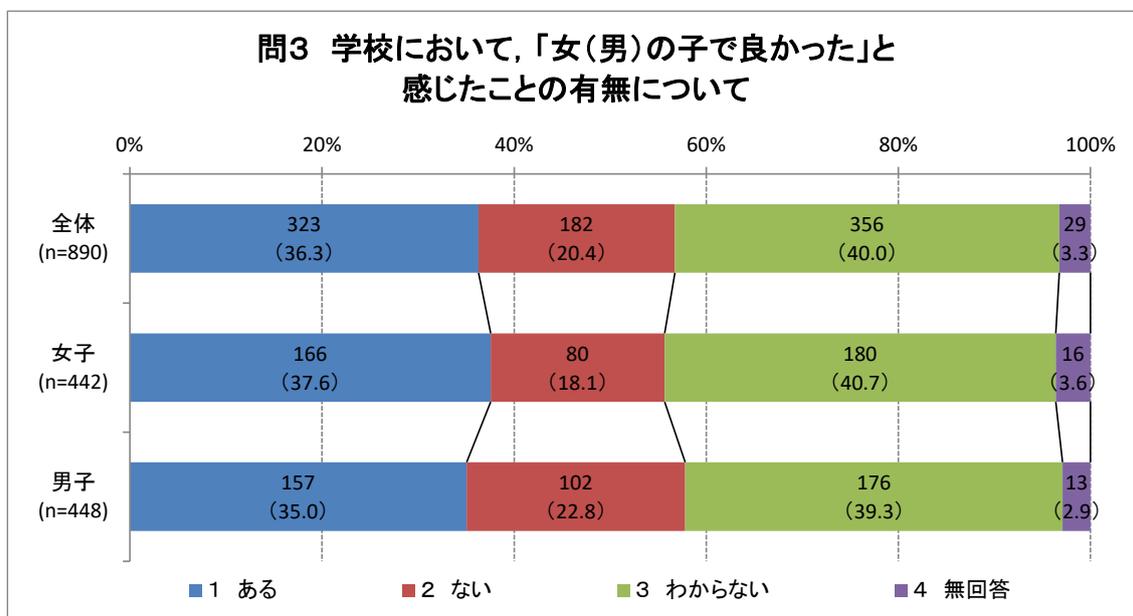
【男子，経年変化】



Ⅲ-3 学校で「女（男）の子で良かった」と感じるとき

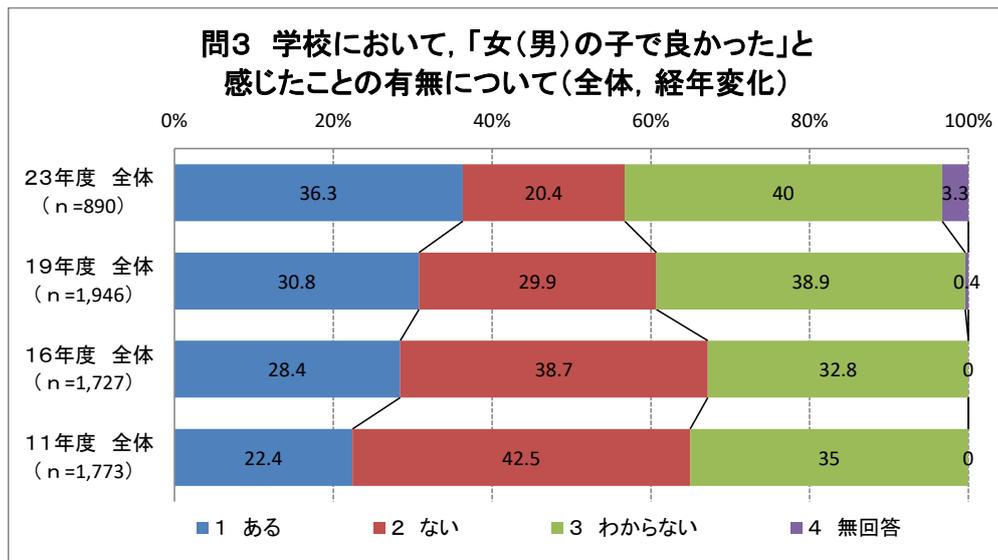
問3 あなたは、学校において、「女（男）の子で良かった」と感じたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

学校において、「女（男）の子で良かった」と感じたことがあるかについて尋ねたところ、「ある」と答えた児童は323人（36.3%）であり、そのうち、女子は166人（37.6%）、男子は157人（35.0%）と、男女間で大きな差異は見られなかった。

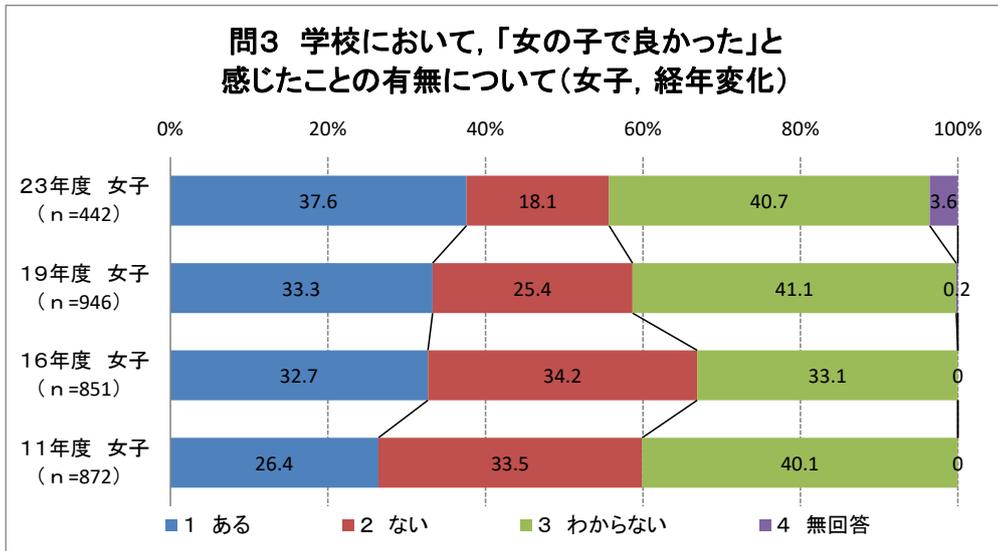


また、経年変化を分析したところ、学校において、「女（男）の子で良かった」と感じたことが「ある」と答えた児童の割合は増加傾向にあり、特に、男子は平成11年度の18.6%から平成23年度は35.0%の約2倍に増加している。

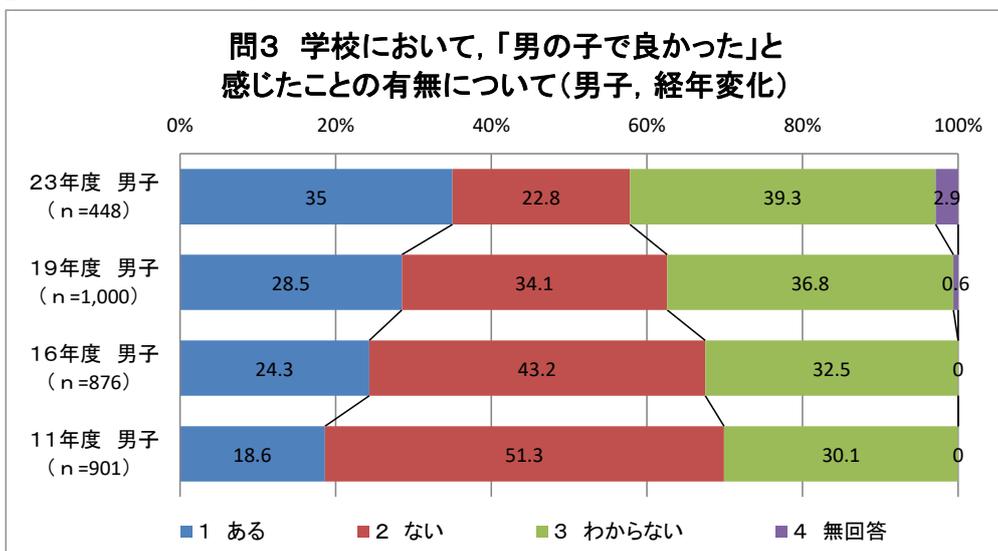
【全体，経年変化】



【女子，経年変化】

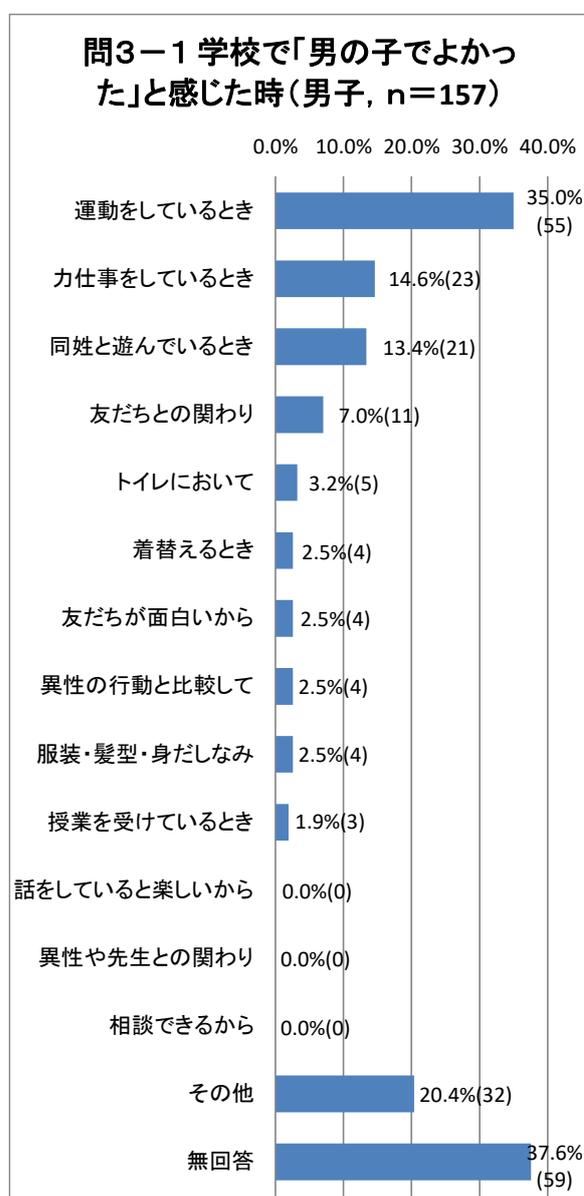


【男子，経年変化】



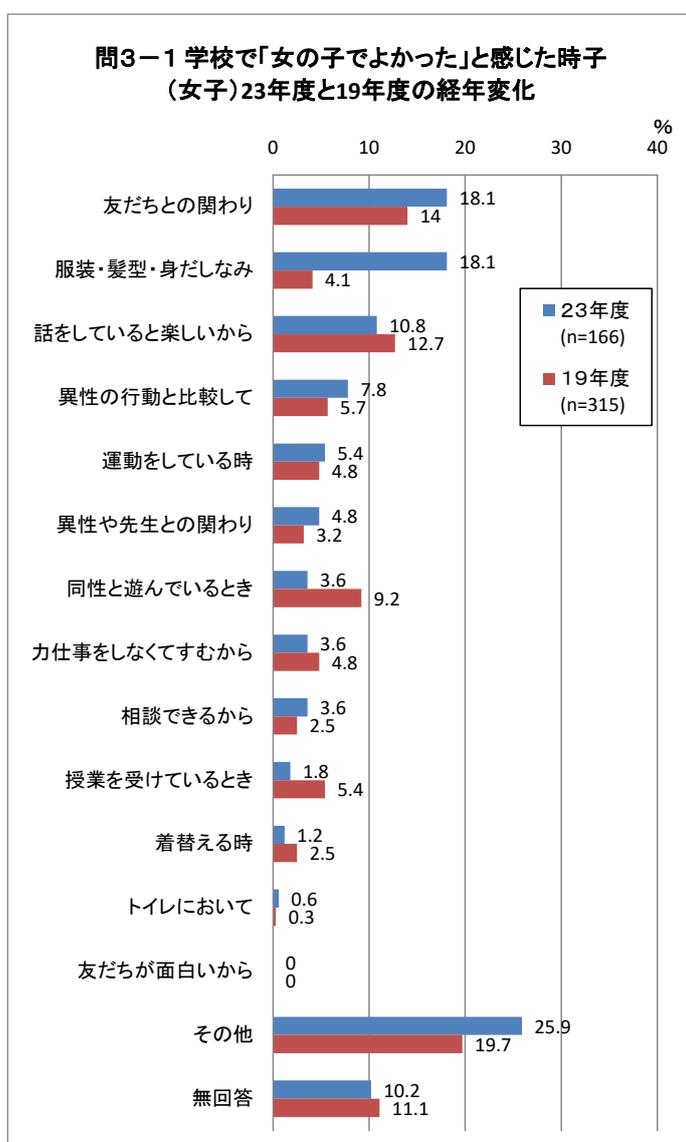
問3-1 問3で「1 ある」に○をつけた人におたずねします。「女（男）の子で良かった」と感じたのはどんな時ですか。具体的に書いてください（いくつでも）。

学校において、「女（男）の子で良かった」と具体的にどのような時に感じたかについて尋ねたところ、女子は「友だちとの関わり」と「服装・髪型・身だしなみ」がともに30人（18.1%）と最も高く、次いで「話をしていると楽しいから」が18人（10.8%）、男子は「運動をしているとき」が55人（35.0%）と最も高く、2位は「力仕事をしているとき」で23人（14.6%）と、20ポイント以上の差がある。

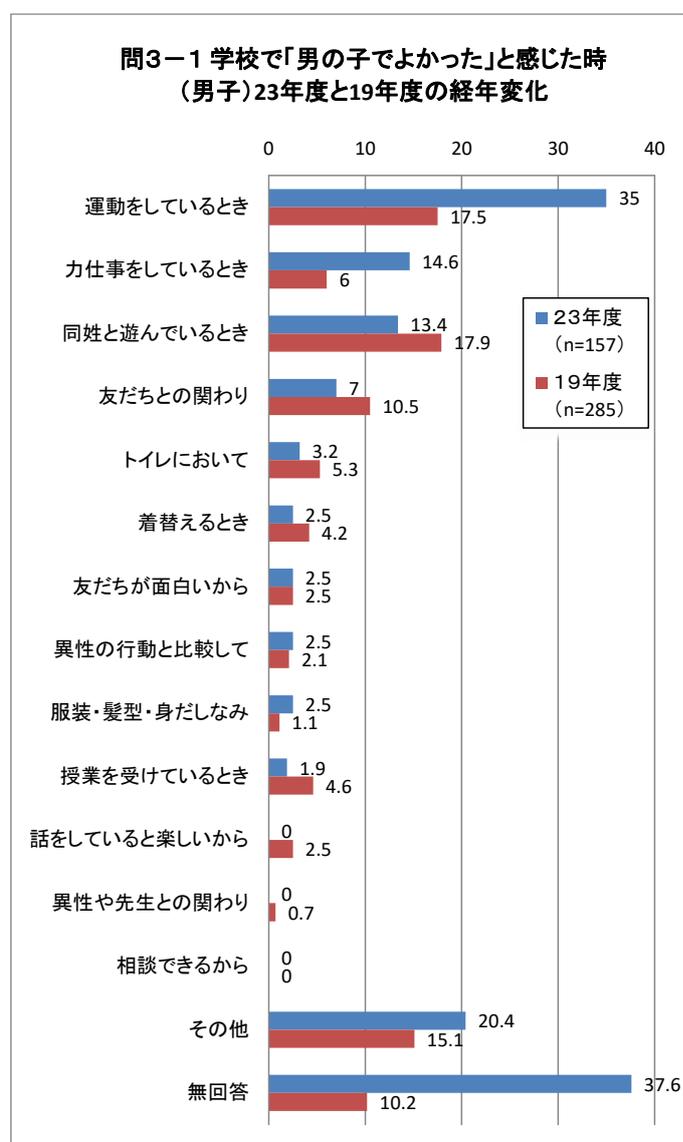


また、経年変化を分析したところ、女子においては「服装・髪型・身だしなみ」が平成19年度の4.1%から平成23年度の18.1%へ約4倍に増加した。男子においては、「運動をしているとき」が平成19年度の17.5%から35.0%に、「力仕事をしているとき」が平成19年度の6.0%から14.6%と、それぞれ約2倍に増加した。

【女子，経年変化】



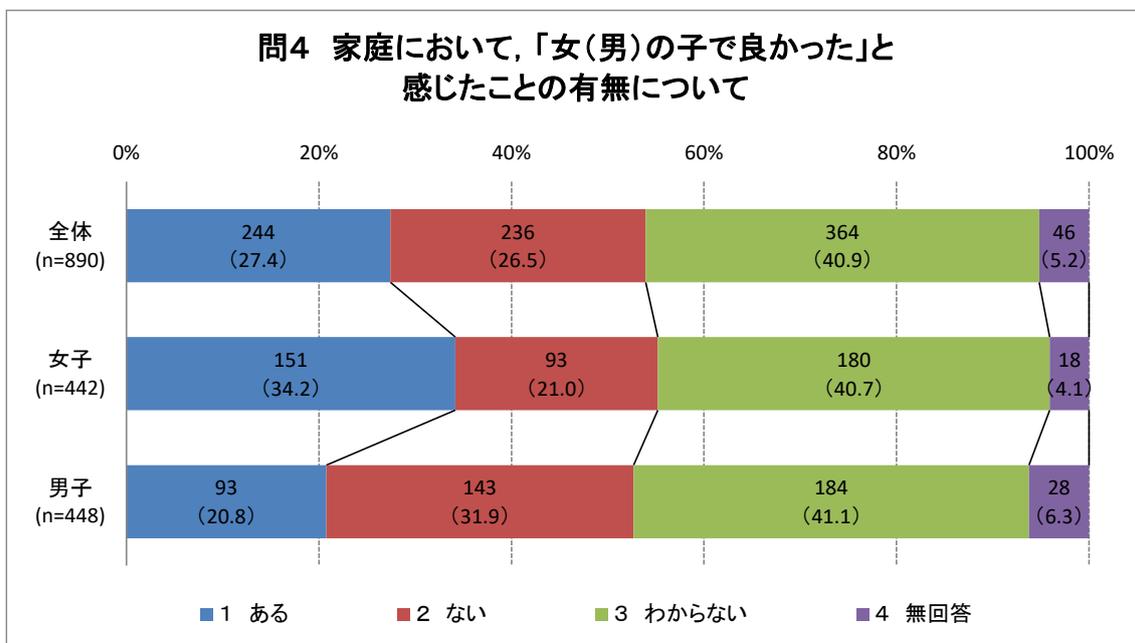
【男子，経年変化】



Ⅲ-4 家庭で「女（男）の子で良かった」と感じるとき

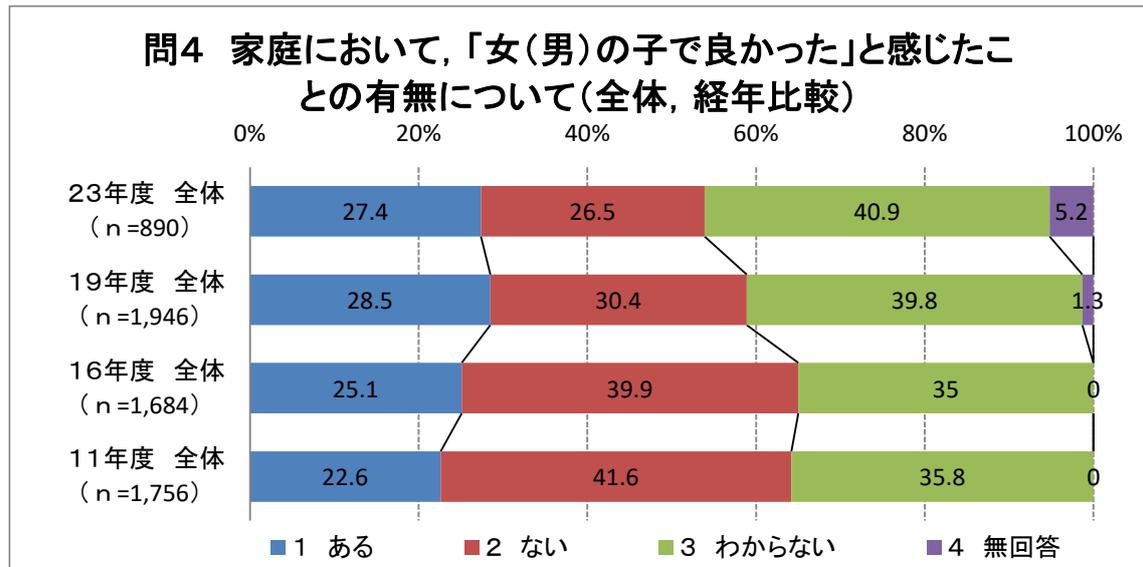
問4 あなたは、家庭において、「女（男）の子で良かった」と感じたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

家庭において、「女（男）の子で良かった」と感じたことがあるかについて尋ねたところ、「ある」と答えた児童は244人（27.4%）であり、そのうち、女子は151人（34.2%）、男子は93人（20.8%）と、女子は男子と比べ、「女（男）の子で良かった」と約1.5倍多く感じている。

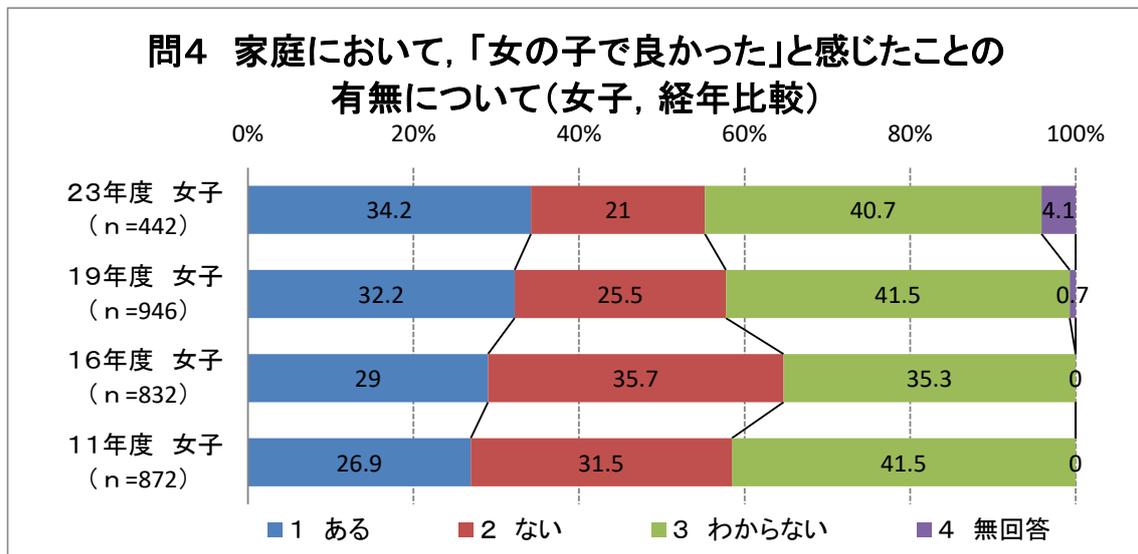


また、経年変化を分析したところ、家庭において、「女（男）の子で良かった」と感じたことが「ある」と答えた児童の割合は増加傾向にあり、特に、女子は平成11年度の26.9%から平成23年度は34.2%に増加している。

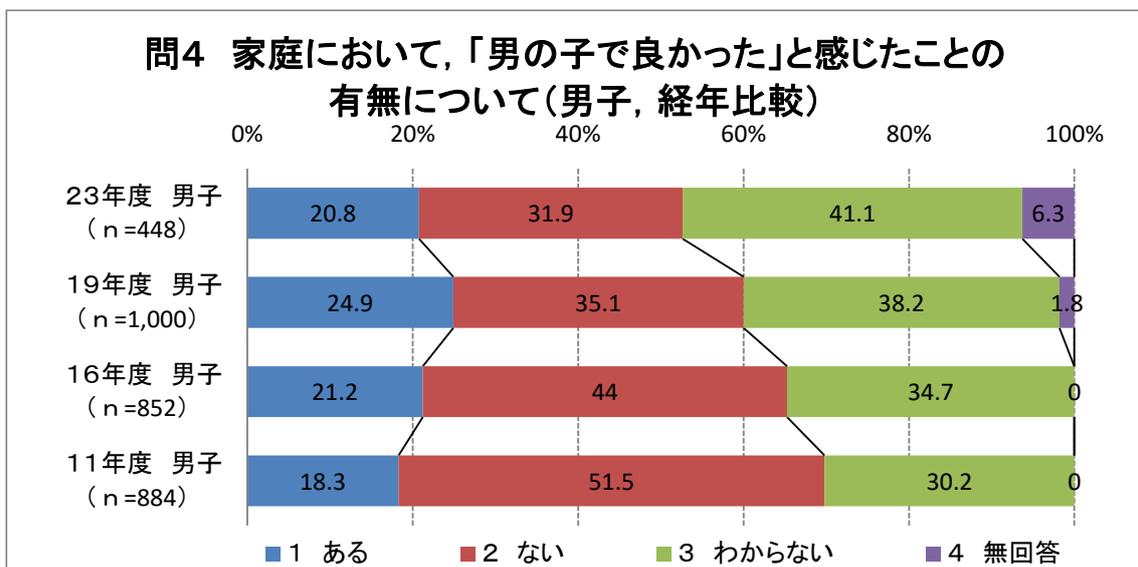
【全体，経年変化】



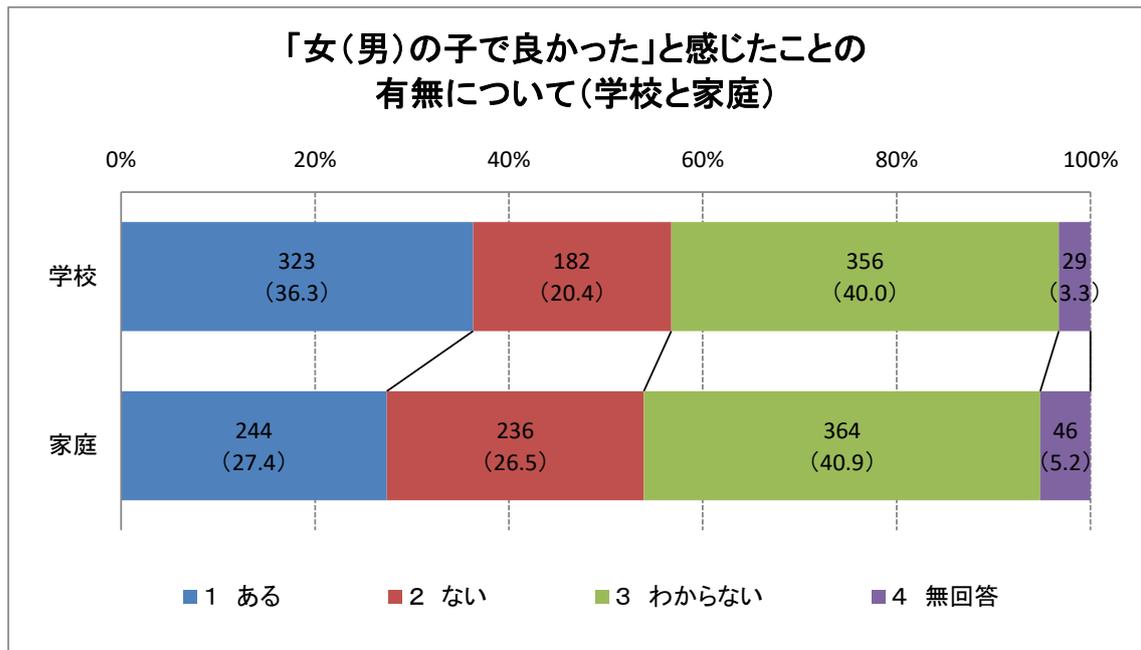
【女子，経年変化】



【男子，経年変化】



学校と家庭において、「女（男）の子で良かった」と感じたことの有無について比較してみると、「女（男）の子で良かった」と感じたことがある児童は、「学校」が323人（36.3%）、「家庭」が244人（27.4%）と、「家庭」よりも「学校」で感じることが多い。

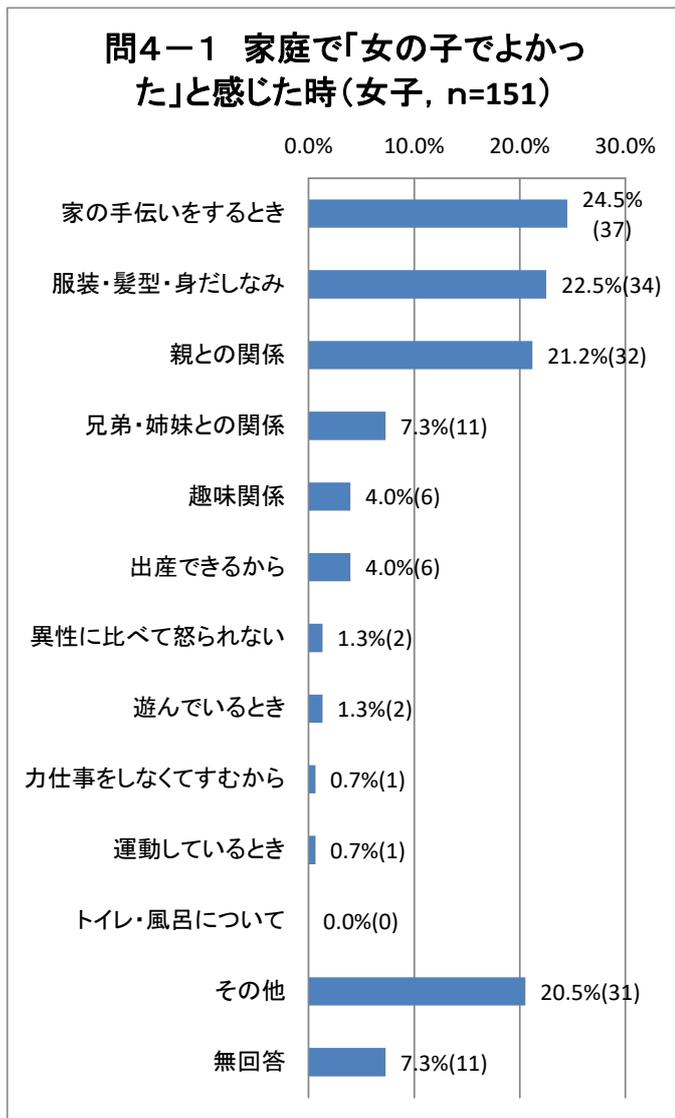


問4-1 問4で「1 ある」に○をつけた人におたずねします。「女（男）の子で良かった」と感じたのはどんな時ですか。具体的に書いてください（いくつでも）。

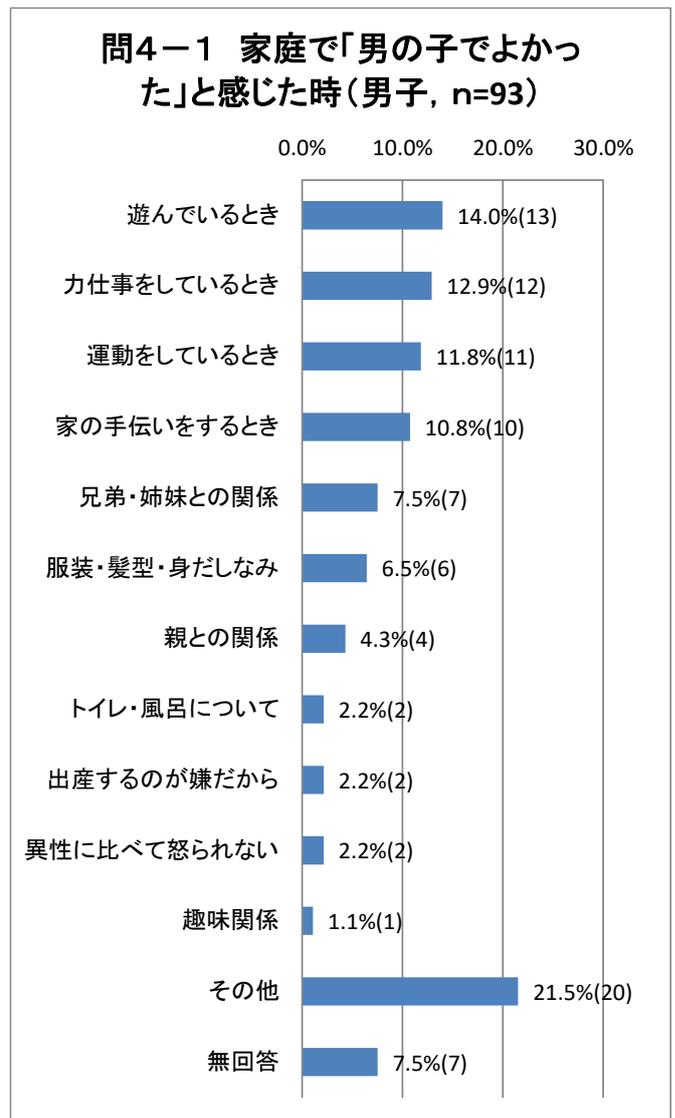
家庭において、「女（男）の子で良かった」と具体的にどのような時に感じたかについて尋ねたところ、女子は「家の手伝いをするとき」が37人（24.5%）と最も高く、次いで「服装・髪型・身だしなみ」が34人（22.5%）、「親との関係」が32人（21.2%）の順に高かった。

男子は、「遊んでいるとき」が13人（14.0%）と最も高く、次いで「力仕事をしているとき」が12人（12.9%）、「運動をしているとき」が11人（11.8%）の順に高かった。

【女子】



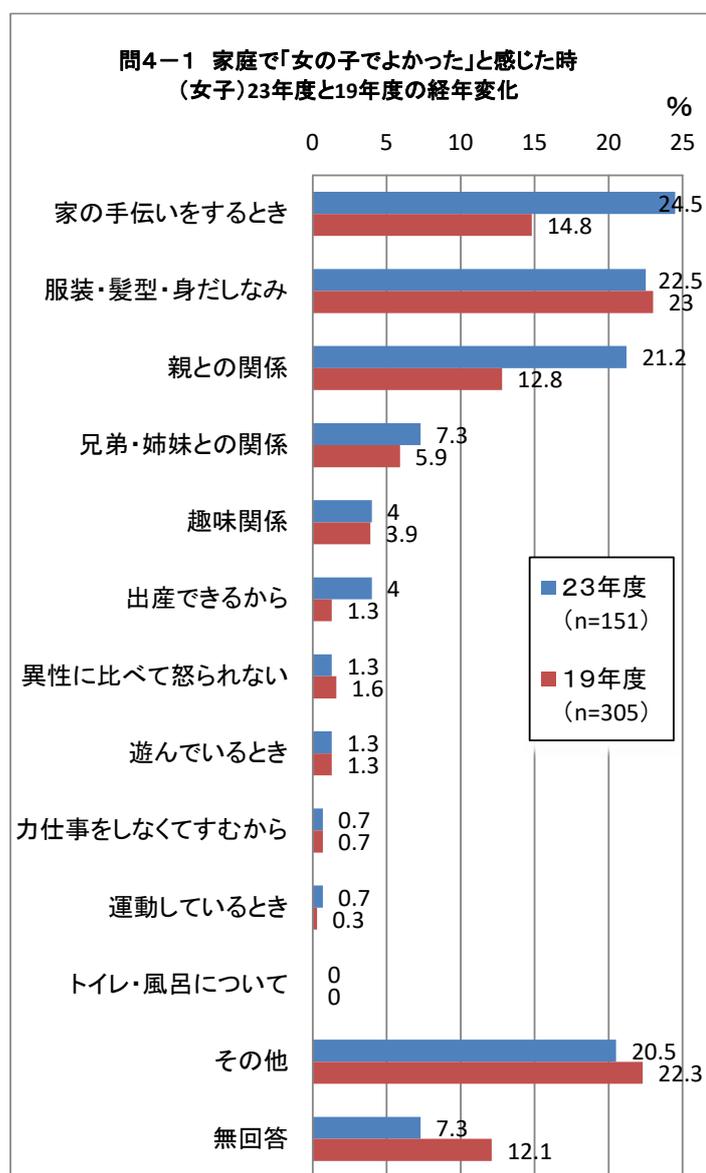
【男子】



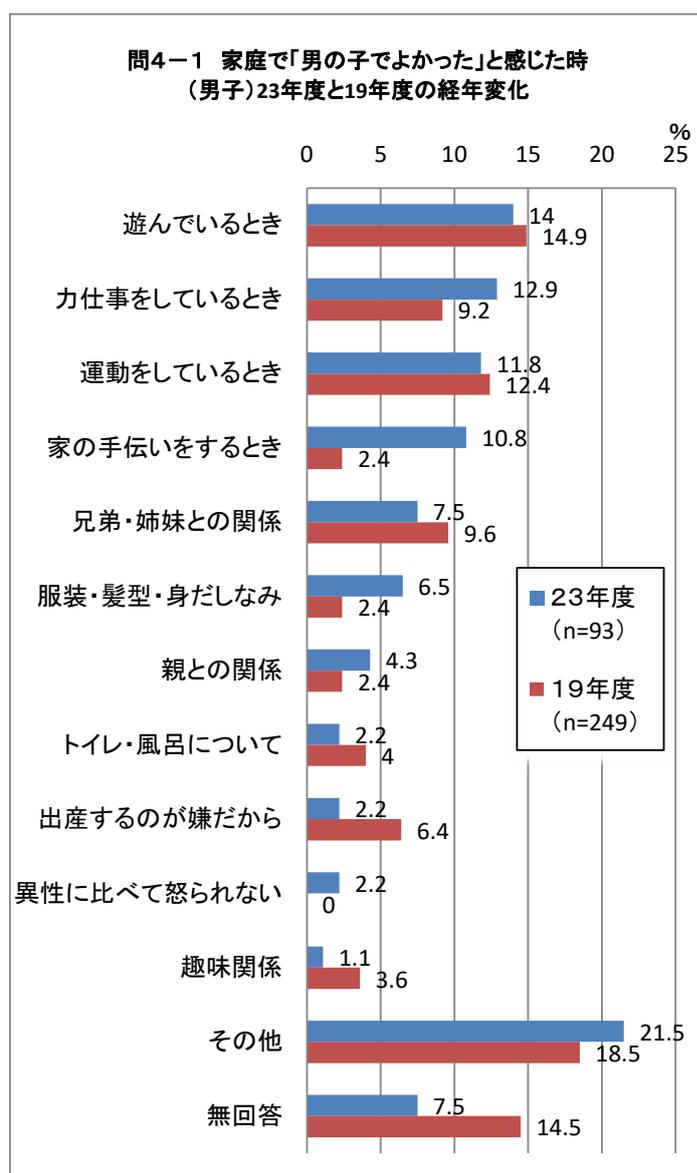
また、経年変化を分析したところ、女子においては「家の手伝いをするとき」が平成19年度の14.8%から平成23年度の24.5%へ、「親との関係」が平成19年度の12.8%から平成23年度の21.2%へと大きく増加した。

また、男子においても、「家の手伝いをするとき」が平成19年度の2.4%から平成23年度の10.8%に大きく増加している。

【女子，経年変化】



【男子，経年変化】

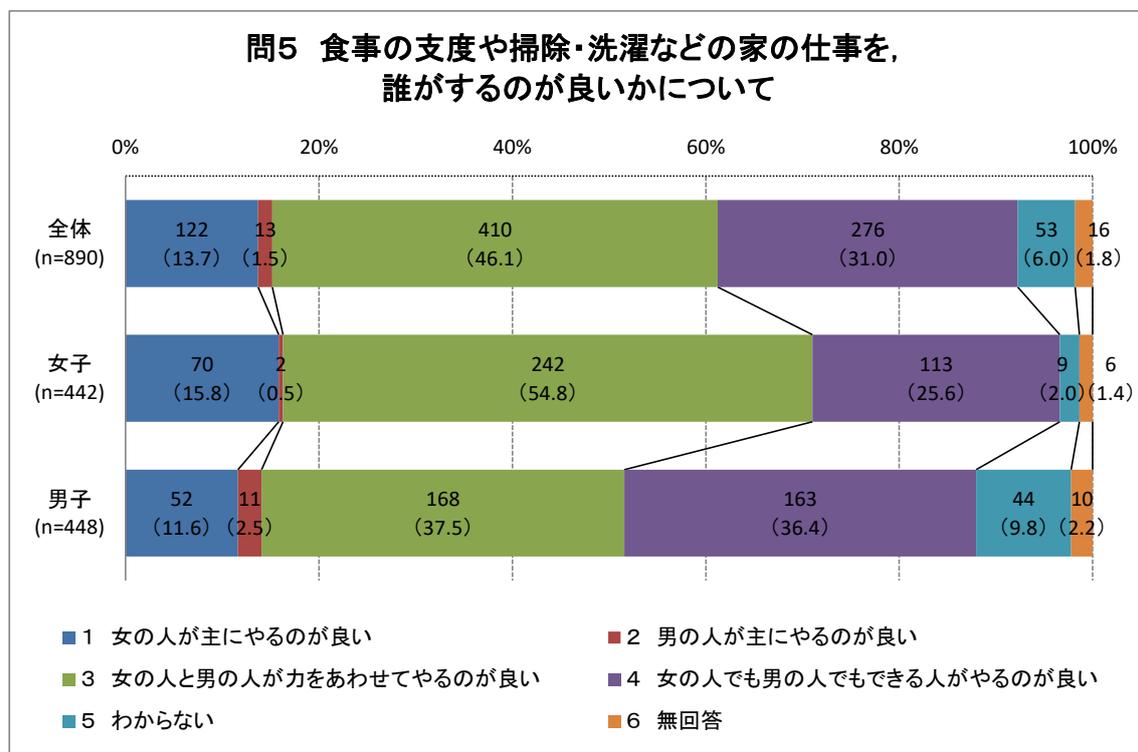


Ⅲ-5 性別役割分担意識（家庭）

問5 あなたは、食事のしたくやそうじ・せんたくなどの家の仕事を、だれがするのが良いと思いますか。あなたの考えに一番近い番号1つに○をつけてください。

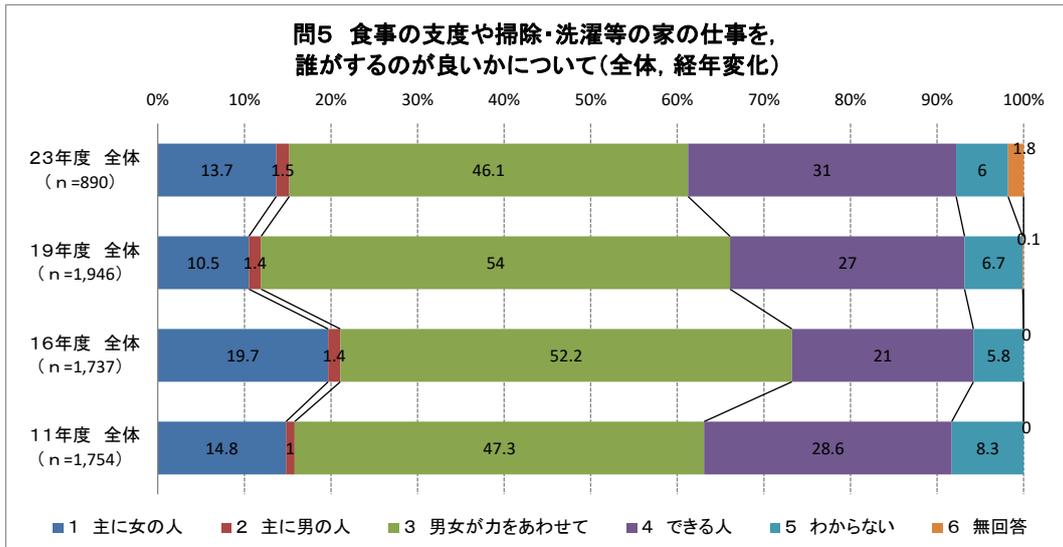
食事の支度や掃除・洗濯などの家の仕事を、誰がするのが良いと思うかについて尋ねたところ、全体では、1位が「女の人と男の人が力をあわせてやるのが良い」で410（46.1%）と最も高く、2位は「女の人でも男の人でもできる人がやるのが良い」で276人（31.0%）、3位は「女の人が主にやるのが良い」で122人（13.7%）であった。

男女別に見ると、男女ともに1位から3位は全体の順位と変わらないものの、男子は1位の「女の人と男の人が力をあわせてやるのが良い」（168人、37.5%）と2位の「女の人でも男の人でもできる人がやるのが良い」（163人、36.4%）がほぼ均衡している。

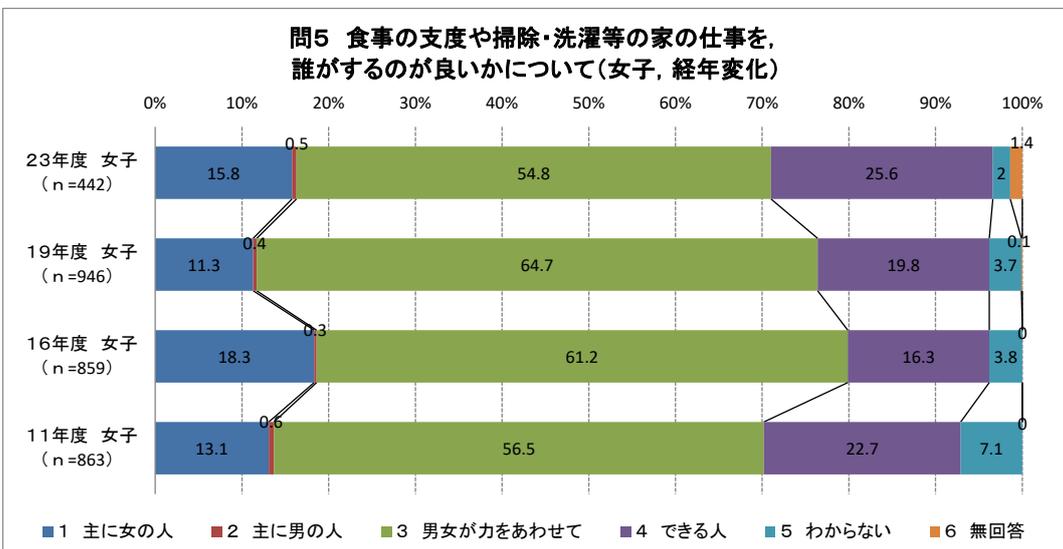


また、経年変化を分析したところ、大きな変化は見られなかった。

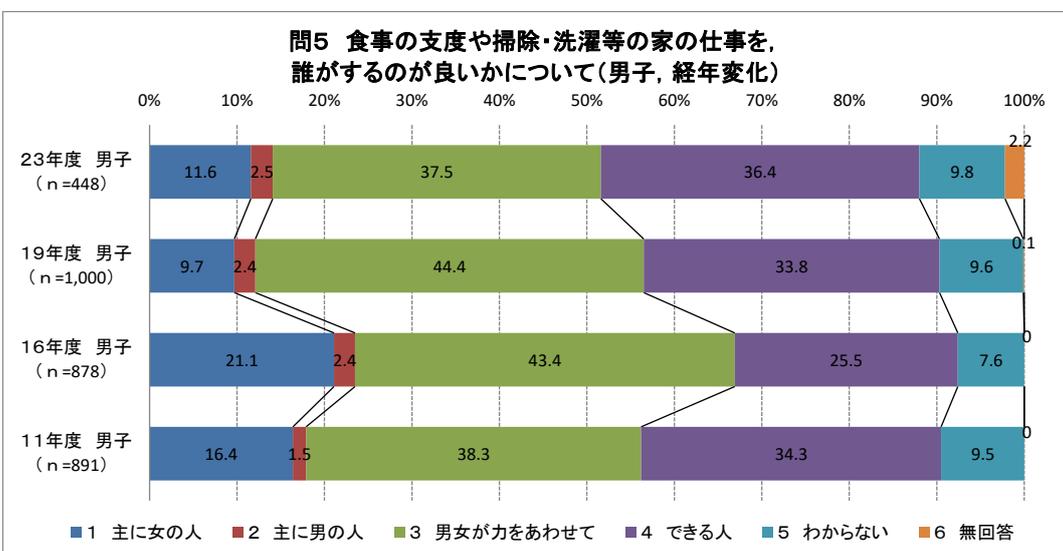
【全体，経年変化】



【女子，経年変化】



【男子，経年変化】

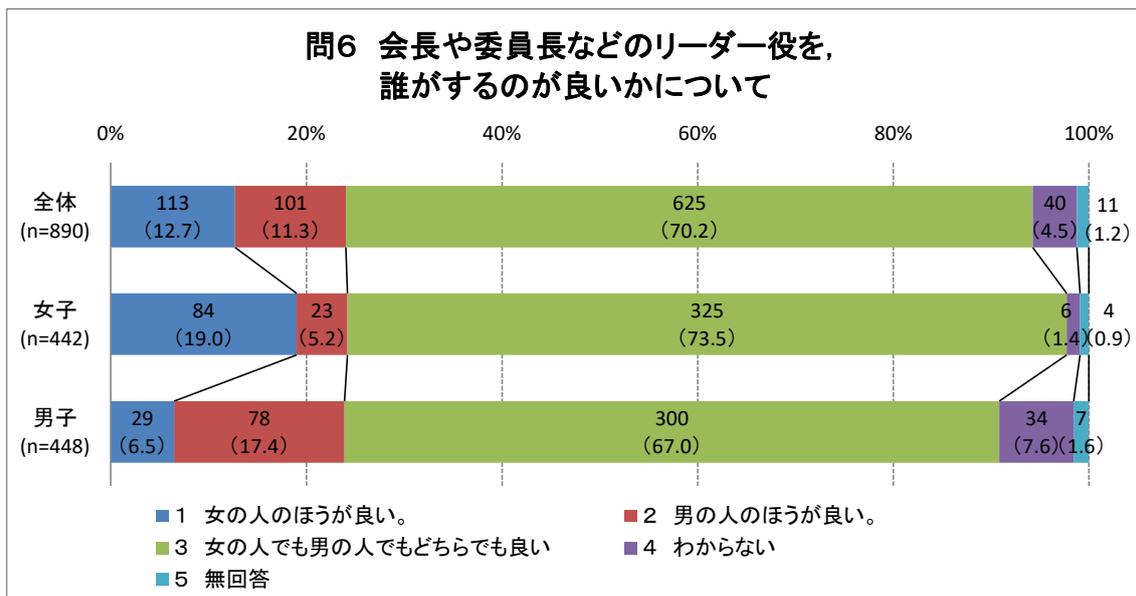


Ⅲ-6 性別役割分担意識（リーダー）

問6 あなたは、会長や委員長などのリーダー役を、だれがするのが良いと思いますか。あなたの考えに一番近い番号1つに○をつけてください。

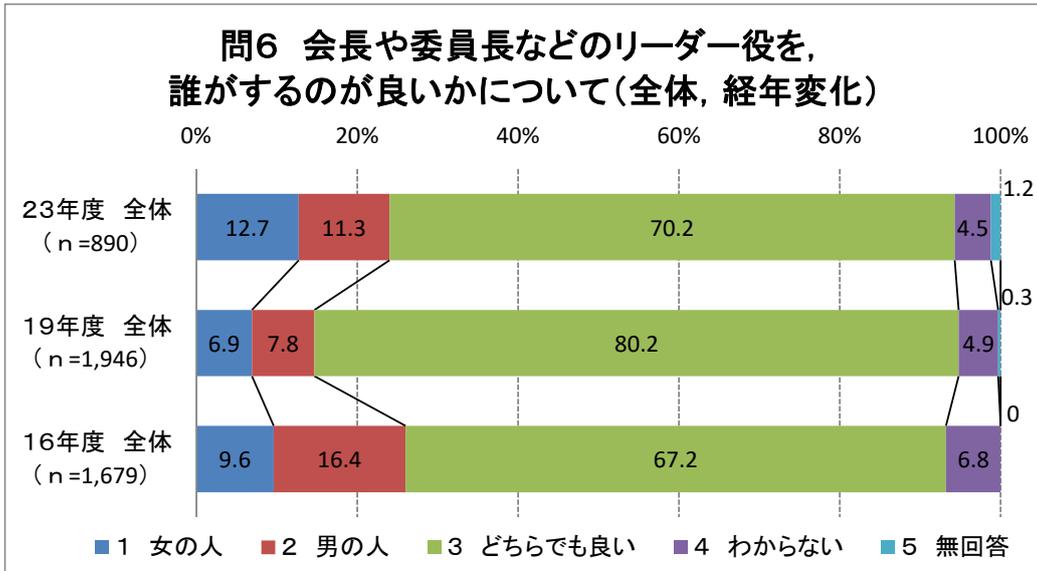
会長や委員長などのリーダー役を、誰がするのが良いと思うかについて尋ねたところ、全体では、1位が「女の人でも男の人でもどちらでも良い」で625人（70.2%）と最も高く、2位は「女の人のほうが良い」で113人（12.7%）、3位は「男の人のほうが良い」で101人（11.3%）と、2位と3位はほぼ同じくらいの割合であった。

男女別に見ると、男女ともに1位は全体と同じく「女の人でも男の人でもどちらでも良い」であったが、2位は、女子では「女の人のほうが良い」（84人、19.0%）、男子では「男の人のほうが良い」（78人、17.4%）と、男女間に差異が見られた。

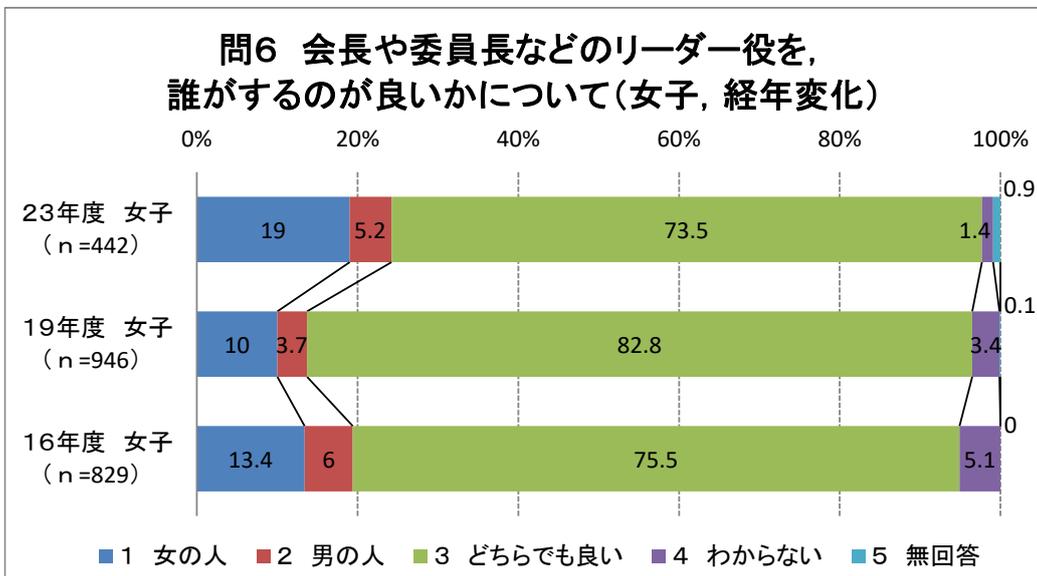


また、経年変化を分析したところ、大きな変化は見られなかった。

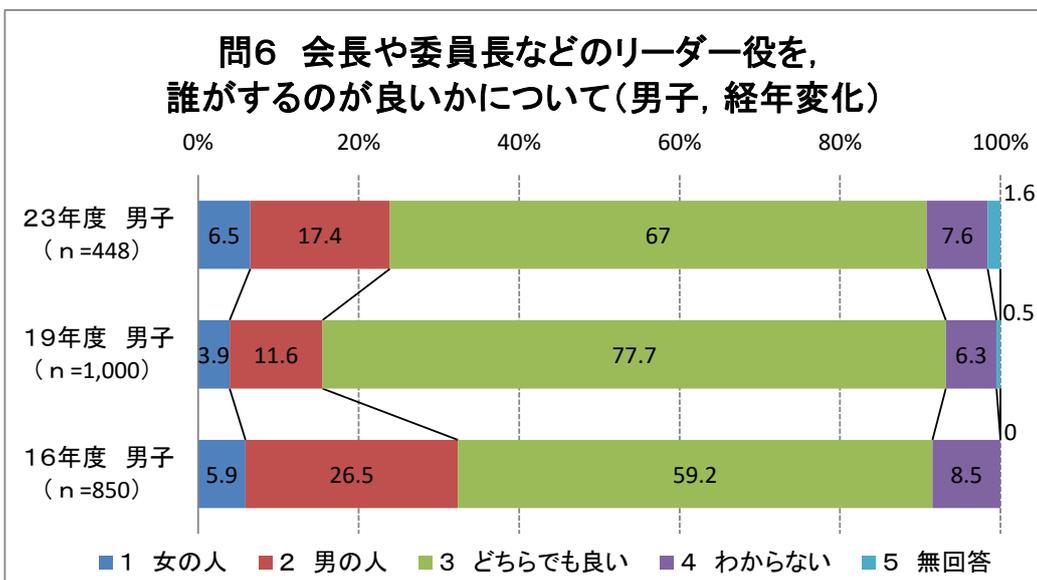
【全体，経年変化】



【女子，経年変化】



【男子，経年変化】



Ⅲ-7 将来の仕事

**問7 あなたは、大きくなったらどんな仕事をしたいと思いますか。
一番やりたい仕事を1つだけ書いてください。まだ決まっていない場合
には記入しなくてかまいません。**

大きくなったらどんな仕事をしたいかについて尋ねたところ、女子は、1位が「保育士・幼稚園教諭」で8.1%と最も高く、2位が「動物関係の仕事」で6.1%、3位が「パティシエ」で5.7%であった。平成19年度と比較すると、2位と3位の順位が入れ替わった。

男子は、1位が「サッカー選手」で11.2%と最も高く、2位が「野球選手」で6.3%、3位が「スポーツ選手（バスケット・バドミントン・ゴルフ・テニス・バレー等）」で5.4%であった。平成19年度と比較すると、1位と2位の順位が入れ替わり、3位であった「ゲーム関係の仕事」は6位に順位を下げた。

また、経年変化を分析したところ、将来の仕事について「決まっていない・分からない・無回答」と答えた児童の割合は増加傾向にあり、女子は平成19年度の7.3%から平成23年度は22.6%に、男子は平成19年度の11.7%から平成23年度は42.2%に急増している。

【女子：上位10位まで】

23年度(女子=442)				19年度(女子=946)		
No.	職業名	人数	%	職業名	人数	%
1	保育士・幼稚園教諭	36	8.1	保育士・幼稚園教諭	104	11.0
2	動物関係の仕事	27	6.1	パティシエ	75	7.9
3	パティシエ	25	5.7	動物関係の仕事	56	5.9
4	デザイナー	20	4.5	漫画家・イラストレーター	40	4.2
5	看護師	17	3.8	デザイナー	40	4.2
6	美容師・理容師	17	3.8	看護師	31	3.3
7	漫画家・イラストレーター	14	3.2	教員（小・中・高・大）	29	3.1
8	教員（小・中・高・大）	14	3.2	音楽の先生（ピアノ等）	29	3.1
9	スポーツ選手（バスケット・バドミントン・ゴルフ・テニス・バレー等）	14	3.2	美容師・理容師	24	2.5
10	パン屋	11	2.5	ケーキ屋	21	2.2
参考	決まっていない・分からない・無回答	100	22.6	決まっていない・分からない・無回答	73	7.3

【男子：上位10位まで】

23年度(男子=448)				19年度(男子=1,000)		
No.	職業名	人数	%	職業名	人数	%
1	サッカー選手	50	11.2	野球選手	144	14.4
2	野球選手	28	6.3	サッカー選手	122	12.2
3	スポーツ選手(バスケット・バドミントン・ゴルフ・テニス・バレー等)	24	5.4	ゲーム関係の仕事	31	3.1
4	漫画家・イラストレーター	16	3.6	水泳選手	26	2.6
5	医者	10	2.2	学者・博士	24	2.4
6	ゲーム関係の仕事	9	2.0	漫画家・イラストレーター	23	2.3
7	大工	8	1.8	医者	23	2.3
8	コック・シェフ	8	1.8	サラリーマン	20	2.0
9	学者・博士	7	1.6	お金持ち	16	1.6
10	サラリーマン	7	1.6	大工	15	1.5
参考	決まっていない・分からない・無回答	189	42.2	決まっていない・分からない・無回答	117	11.7

IV 資料編（調査票）

男女共同参画に関する児童の意識調査 調査票

【調査のお願い】

これはテストではありません。みなさんの気持ちや思いなどをたずねる調査です。

調査票の答えはすべてコンピュータで集計し、名前も書かないので、あなたの意見が先生や友だちにわかるようなことはありません。

意味のわからない言葉があったら、先生に質問してください。

【書く時の注意】

- 1 友だちと相談しないで自分で考えて書いてください。
- 2 問1から順番に質問を読んで、あてはまる番号に○をつけてください。

○をつける例 ① はい 2. いいえ

- 3 質問によっては、条件^{じょうけん}にあてはまる人だけにたずねるものがありますので、注意してください。
- 4 答えにくい質問は、答えなくてもかまいません。

平成23年12月実施
宇都宮市
男女共同参画課

問1 あなたの性別はどちらですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 男子
- 2 女子

問2 あなたは、「女(男)らしくしなさい」や「女(男)のくせに」と言われることがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 よく言われる
 - 2 ときどき言われる
 - 3 あまり言われぬ
 - 4 まったく言われぬ
- } -----> 問2-1へ
- } -----> 問3へ

問2-1 問2で「1 よく言われる」、「2 ときどき言われる」に○をつけた人におたずねします。あなたにそのように言う人はだれですか。当てはまる番号にいくつでも○をつけてください。

- 1 母
- 2 父
- 3 姉や妹
- 4 兄や弟
- 5 祖母
- 6 祖父
- 7 女の友達
- 8 男の友達
- 9 女の上級生
- 10 男の上級生
- 11 女の先生
- 12 男の先生
- 13 近所の人(女性)
- 14 近所の人(男性)
- 15 その他の人

問3 あなたは、学校において、「女（男）の子で良かった」と感じたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 ある } -----▶ 問3-1へ
- 2 ない } -----▶ 問4へ
- 3 わからない } -----▶ 問4へ

問3-1 問3で「1 ある」に○をつけた人におたずねします。「女（男）の子で良かった」と感じたのはどんな時ですか。具体的に書いてください（いくつでも）。

.....
.....
.....

問4 あなたは、家庭において、「女（男）の子で良かった」と感じたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 ある } -----▶ 問4-1へ
- 2 ない } -----▶ 問5へ
- 3 わからない } -----▶ 問5へ

問4-1 問4で「1 ある」に○をつけた人におたずねします。「女（男）の子で良かった」と感じたのはどんな時ですか。具体的に書いてください（いくつでも）。

.....
.....
.....

問5 あなたは、食事のしたくやそうじ・せんたくなどの家の仕事を、だれがするのが良いと思いますか。あなたの考えに一番近い番号1つに○をつけてください。

- 1 女の人が主^{おも}にやるのが良い
- 2 男の人が主^{おも}にやるのが良い
- 3 女の人と男の人が力をあわせてやるのが良い
- 4 女の人でも男の人でもできる人がやるのが良い
- 5 わからない

問6 あなたは、会長や委員長などのリーダー役を、だれがするのが良いと思いますか。あなたの考えに一番近い番号1つに○をつけてください。

- 1 女の方のほうが良い。
- 2 男の方のほうが良い。
- 3 女の人でも男の人でもどちらでも良い。
- 4 わからない

問7 あなたは、大きくなったらどんな仕事をしたいと思いますか。一番やりたい仕事を1つだけ書いてください。まだ決まっていない場合には記入しなくてかまいません。

ご協力ありがとうございました。

平成23年度 小学5年生の男女共同参画に関する意識調査報告書

平成24年2月

発行・編集 宇都宮市 市民生活部 男女共同参画課
〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号
TEL 028-632-2346
FAX 028-632-2347
E-mail u1810@city.utsunomiya.tochigi.jp